

環境影響評価審査会風力発電所部会議事録

- 1 日時：平成18年1月19日（木）14:00～16:30
- 2 場所：兵庫県民会館3階303会議室
- 3 議題
(1)CEF兵庫ウインドファーム事業に係る環境影響評価準備書の審査について
- 4 出席委員：山口部会長、朝日委員、大迫委員、北村委員、田中眞吾委員、服部委員、藤井会長
- 5 事務局：長谷川健康生活部参事（環境技術担当）
環境影響評価室 勝野室長、鷲見課長補佐外室員3名
- 6 関係部局：自然環境保全課、大気課、森林動物共生室、治山課、森林保全室、景観形成室、但馬県民局
- 7 事業者：CEF兵庫ウインドファーム株式会社
- 8 配布資料：
会議次第
出席者名簿
補足資料 兵庫WF環境影響評価書実施の経緯
補足資料 CEF兵庫ウインドファーム事業に係る環境影響評価書有識者意見と事業者見解
補足資料 CEF兵庫ウインドファーム事業に係る環境影響評価書住民意見と事業者見解
- 9 議事概要
事業者よりCEF兵庫ウインドファーム事業に係る事業計画地の状況、工事方法、植物調査の詳細、猛禽類調査結果及びバードストライクの回避策等について説明
(委員)今回計画の出力2500kWは、これまでのものと比べかなり大きい。騒音等の環境影響に関して、今までの他施設の調査結果を比較検討資料として使えるか。
(事業者)一基あたり日本最大級である。
(委員)今回、風車径88mで、それと同等の例があるのか。羽根は大きくなったが、改良され、回転速度が遅くなり、騒音が低くなったというが、よく分からない。
(事業者)風車については、NEDOの評価マニュアルに沿って環境影響評価を実施した。騒音については、メーカーのデータ提供を受け、それを基に予測している。風力発電所の音は風切り音であり、金属音、爆発音等不快な音ではない。
(委員)相当コストがかかることが分かった。それでやっていけるのか。猛禽類の問題もあり、他に代替地はなかったのか。
(事業者)採算については、どの程度風があり、どの程度の発電量となるかは試算している。設置コストは相当高いが、燃料不要で、風が吹けば発電でき、運転面でのメリットはある。長い期間をかけて少しずつ回収していく。採算性は確認している。
(委員)この場所と他の場所とのコスト比較は。
(事業者)全国で風が吹く地域を探しているが、なかなか良い所はない。この場所で以前から検討し、計画を具体化し、環境影響評価を実施している。
(委員)工事用道路上の希少種の調査はどうか。
(事業者)調査済みである。ルート変更した部分も、入れる場所はすべて確認した。

- (委員) 工事を行えば、移植の難しい植物が多い。その対応については十分考えてほしい。
植物の面から言えばこの場所は風衝群落で、風の強い所にしか出てこない群落である。
- (委員) 栃原川では、土木事務所がオオサンショウウオの調査をしている。150匹もあり、そこに濁水が流れ込めば影響が大きいので注意してほしい。
- (委員) 日本ではイヌワシのバードストライクの例はないとのことであるが、住民意見の中で団体からの要望がある。その団体がバードストライクの可能性と生息環境の悪化を指摘している。この団体は、猛禽類に関してはデータをしっかり持っているの
で、その意見は重要と思っているが、どう考えているか。
- (事業者) 今まで2回懇談会を開催した。団体の要望があれば、説明し、意見を聴きたい
と思っている。
- (委員) バードストライク対策で白色閃光灯だけの対策に不安がある。他にないのか。
- (事業者) 視認性を高めるため、ライトアップを考えている。
- (委員) バードストライクは、よくあると言われるが、説明ではないと言われる。
- (委員) ないと証明は難しい。すべてを調べていないので、何らかの可能性は否定でき
ない。アメリカのデータではかなり発生している。
- (委員) 将来を見越した場合、達磨ヶ峰は大型猛禽類の生息地になり得るポテンシャルを
持っている。そこに大きな風力発電を建設すれば、この付近には近づかなくなり、
希少種の保全の観点から、今建設することには悔いが残る。
- (委員) ライトアップや白色閃光灯は、鳥一般の話であり、ここで問題なのは、県内には
おそらく2ペアしかいないイヌワシである。

(事業者退席)

- (委員) 環境省の発表したイヌワシのメッシュには、段ヶ峰は入っているが、達磨ヶ峰は
外れていると思っていた。
- (事務局) (第1回部会では) 事業者はそのように説明したが、環境省に確認すると達磨
ヶ峰を含む予定地は(段ヶ峰と同じメッシュに)入っている。